

12月1日(日) 第3日目 A会場

9:10~10:50 免疫アレルギー最近の進歩 -annual review と専門部会報告 (皮膚科領域講習)

免疫アレルギー最近の進歩— annual review と専門部会報告

座長：戸倉 新樹 (浜松医科大学)

佐野 栄紀 (高知大学)

- 1 接触皮膚炎
横関 博雄 (東京医科歯科大学)
- 2 アトピー性皮膚炎—最近の進歩と部会の活動報告
加藤 則人 (京都府立医科大学)
- 3 蕁麻疹・肥満細胞部会報告
秀 道広 (広島大学)
- 4 薬疹部会報告：最近の薬疹診療の動向
橋爪 秀夫 (磐田市立総合病院)
- 5 食物アレルギー
森田 栄伸 (島根大学)
- 6 職業アレルギー専門部会より
中村 元信 (産業医科大学) ほか
- 7 膠原病・血管炎 ～最近のトピックス～
山本 俊幸 (福島県立医科大学) ほか
- 8 読まずに死ぬるか！ 臨床医も知っておくべき皮膚免疫・アレルギーに関する
基礎研究論文ベスト10 —2018～2019—
川村 龍吉 (山梨大学)

11:00~11:45 招待講演

招待講演

座長：片山 一郎 (大阪大学名誉教授／大阪市立大学
色素異常症治療開発共同研究部門)

IL 交感神経による免疫調節

鈴木 一博 (大阪大学 免疫学フロンティア研究センター, 大阪大学
微生物病研究所)

12:00~13:00 ランチョンセミナー

ランチョンセミナー6 新時代の乾癬治療

座長：大槻 マミ太郎（自治医科大学）

LS6-1 皮膚 T 細胞から考える乾癬の病態

渡辺 玲（筑波大学）

LS6-2 乾癬バイオ三国時代における治療戦略

～リサンキズマブ，新たな選択肢の位置づけ～

安田 正人（群馬大学）

共催：アッヴィ合同会社

13:15~14:55 シンポジウム

（皮膚科領域講習）

シンポジウム5 接触皮膚炎の最新情報と知っておきたいピットフォール対策

座長：関東 裕美（東邦大学医療センター大森病院）

伊藤 明子（ながたクリニック）

S5-1 見逃していませんか，そのかぶれ

伊藤 明子（ながたクリニック 新潟県新潟市）

S5-2 ヘアカラーの皮膚障害を防ぐには

伊藤 崇（東邦大学）

S5-3 アクリレート・接着剤による接触皮膚炎を見逃さないために

浅井 知佳（横浜市立大学）ほか

S5-4 化学分析から判明したアレルゲン最新情報

佐々木和実（独立行政法人製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター）

14:55~15:00

次期会長挨拶

12月1日(日) 第3日目 B会場

9:10~9:42 一般演題

薬疹4

座長：水川 良子（杏林大学）

古田 淳一（筑波大学）

- 111 免疫チェックポイント阻害薬使用中に発症した光沢苔癬の1例：免疫組織染色による病態解析
小松 貴義（京都大学）ほか
- 112 胃癌腹膜播種に対しニボルマブ投与中に発症した水疱性類天疱瘡の1例
大久保志ずか（聖路加国際病院）ほか
- 113 免疫チェックポイント阻害薬による皮膚障害の実態調査及び重症化因子の解析
池田 信昭（横浜市立大学）ほか
- 114 ドセタキセルによる強皮症様皮膚硬化の1例
森 明日香（奈良県立医科大学）ほか

9:50~10:50 参加型ワークショップ

（皮膚科領域講習）

参加型ワークショップ2 薬診

WS2 薬疹診療，どうしていますか？ もっと深めてみませんか？

ファシリテーター：藤山 幹子（国立病院機構四国がんセンター）

小豆澤宏明（あずきざわ皮ふ科／大阪大学）

11:00~11:45 教育講演

教育講演

座長：相場 節也（東北大学）

- EL 皮膚バリア構造とアレルギーの接点
山本 明美（旭川医科大学）

12:00~13:00 ランチョンセミナー

ランチョンセミナー7 チーム医療の実践

座長：八木 宏明（静岡県立総合病院）

山口 由衣（横浜市立大学）

- LS7-1 リウマチ性疾患に対するチーム医療の実際 展開へのヒント
小寺 雅也（独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院）
- LS7-2 他科連携と乾癬
大畑 千佳（久留米大学）

共催：日本イーライリリー株式会社

13:15~14:15 ミニシンポジウム

ミニシンポジウム7 蕁麻疹・アナフィラキシー

座長：照井 正（日本大学）

中村晃一郎（埼玉医科大学）

- MSY7-1 1歳男児の臀部に生じた mastocytoma の1例
伊藤 友章（東京医科大学）ほか
- MSY7-2 水蕁麻疹の一例
渡邊 遥（東京大学）ほか
- MSY7-3 オマリズマブによる治療後もコントロール不良な特発性慢性蕁麻疹の背景因子の検討
佐川 展子（横浜市立大学）ほか
- MSY7-4 我が国における特発性の蕁麻疹の診療状況
高萩 俊輔（広島大学）ほか
- MSY7-5 我が国における刺激誘発型の蕁麻疹の診療実態調査
亀頭 晶子（広島大学）ほか

12月1日(日) 第3日目 C会場

9:10~9:58 一般演題

蕁麻疹・アナフィラキシー2

座長：田中 暁生（広島大学）

金子 栄（島根大学）

- 115 内服薬の添加物クロスカルメロースナトリウムによりアナフィラキシーを繰り返した1例
花田 美穂（岩手医科大学）ほか
- 116 オマリズマブの特発性の慢性蕁麻疹に対する安全性及び有効性を検討した特定使用成績調査（中間報告）
福永 淳（神戸大学）ほか
- 117 日本大学皮膚科で経験した慢性蕁麻疹患者に対するオマリズマブ使用例の臨床的検討
田杭 真帆（日本大学）ほか
- 118 慢性蕁麻疹に対する当院でのオマリズマブ使用経験
廣崎 邦紀（国立病院機構 北海道医療センター）ほか
- 119 呼吸困難をともなうコリン性蕁麻疹：温熱負荷試験によってEIA_n, EIA と鑑別しえた1例
藤本 雷（大阪はびきの医療センター）ほか
- 120 好塩基球の動態を経時的に検討した特発性蕁麻疹の1例
岸本 泉（関西医科大学）ほか

10:00~10:48 一般演題

蕁麻疹・アナフィラキシー3

座長：澄川 靖之（すみかわ皮膚科アレルギークリニック）

谷崎 英昭（大阪医科大学）

- 121 筋弛緩剤によるアナフィラキシーショックの3例
花見 由華（福島県立医科大学）ほか
- 122 全身麻酔導入中に発症したロクロニウムおよびセファゾリンによるアナフィラキシーの1例
藤原 みさ（産業医科大学）ほか
- 123 ロクロニウムとアトロピンが原因と考えられた周術期アレルギーの1例
中川 倫代（岩手医科大学）ほか
- 124 ドルミカムによるアナフィラキシーショックの1例
佐藤 文子（山形市立病院済生館）ほか
- 125 リドカインアレルギーを疑われ皮膚テスト・チャレンジテストを施行した13例の検討
梅本 尚可（自治医科大学さいたま医療センター）ほか
- 126 レミフェンタニル塩酸塩による即時型アレルギー
松村 迪（関西医科大学）ほか

12:00~13:00 ランチョンセミナー

ランチョンセミナー8 皮膚アレルギー疾患のかゆみマネジメント

座長：石黒 直子（東京女子医科大学）

LS8-1 アトピー性皮膚炎のかゆみマネジメントーかゆみ・掻破を理解し、制御するー

中原 剛士（九州大学）

LS8-2 蕁麻疹のトータルマネジメント

～蕁麻疹の病態を考慮した治療法はあるのか？～

福永 淳（神戸大学）

共催：大鵬薬品工業株式会社

13:15~14:27 一般演題

中毒疹・薬疹5

座長：蒲原 毅（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

小豆澤宏明（あずきざわ皮ふ科）

127 帯状疱疹を契機に、掌蹠外病変を生じた掌蹠膿疱症の1例

寛 祐未（奈良県立医科大学）ほか

128 単純ヘルペスウイルス初感染時にやや小型の多形滲出性紅斑様皮疹を呈した2例

河合 良奈（獨協医科大学埼玉医療センター）ほか

129 経過中にITPを併発し感染アレルギーの関与が疑われた多発浸潤性紅斑の1例

小越 達也（国際医療福祉大学熱海病院）ほか

130 アムロジピンによる interstitial granulomatous drug reaction の1例

田蒔 舞子（徳島大学）ほか

131 グレカプレビル水和物・ピブレンタスビル錠（マヴィレット®配合錠）による播種性紅斑丘疹型薬疹の1例

富安 弘花（京都大学）ほか

132 インフリキシマブ投与後にlichenoid eruptionを生じ、infusion reactionを続発した1例

加藤 峰幸（都立多摩総合医療センター）ほか

133 接触皮膚炎の罹患部位に生じたアリルイソプロピルアセチル尿素による固定薬疹の1例

出野りか子（大阪大学）ほか

134 トニックウォーターによる固定疹の1例

渡辺 瞳（愛知医科大学）ほか

135 トニックウォーターによる固定疹の2例

田中久仁子（日本生命病院）ほか

12月1日(日) 第3日目 D会場

8:00~9:00 モーニングセミナー

モーニングセミナー1 炎症性皮膚疾患

座長：森田 明理（名古屋市立大学）

MS1-1 化膿性汗腺炎の病態～化膿性汗腺炎は汗腺の感染症なのか？～

林 伸和（虎の門病院）

MS1-2 化膿性汗腺炎に対する治療の実際

加藤 裕史（名古屋市立大学）

共催：エーザイ株式会社

9:10~10:14 一般演題

膠原病・血管炎3

座長：浅野 善英（東京大学）

藤本 徳毅（滋賀医科大学）

136 当院における抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎の臨床像の検討

前島 えり（山梨大学）ほか

137 嚥下障害に対して γ グロブリン大量静注療法が奏功した抗TIF-1 γ 抗体陽性皮膚筋炎の2症例

中島 里穂（高知大学）ほか

138 TIF1- γ 抗原に対し交叉反応を生じたと考えられた抗Mi-2抗体陽性皮膚筋炎の1例

越後 岳士（石川県立中央病院）ほか

139 当科で経験した悪性腫瘍合併抗TIF1- γ 抗体陽性皮膚筋炎の2例

勝田 来未（大阪大学）ほか

140 合併する肺癌治療後に抗TIF1- γ 抗体が陰性化した皮膚筋炎の1例

花井 志帆（浜松医科大学）ほか

141 当院における皮膚筋炎患者の筋炎特異的自己抗体による皮膚所見，後爪郭毛細血管所見の検討

高橋 甲介（宝塚市立病院）ほか

142 抗PM-Scl75抗体陽性であった好酸球性筋膜炎の1例

植田 郁子（関西医科大学）ほか

143 日本人膠原病患者における抗cytosolic 5'-nucleotidase 1A抗体

室 慶直（名古屋大学）ほか

10:20~11:24 一般演題

膠原病・血管炎4

座長：室 慶直（名古屋大学）

茂木精一郎（群馬大学）

- 144 両下腿潰瘍の加療中に脳梗塞を発症した抗リン脂質抗体症候群の一例
小野さち子（京都大学）ほか
- 145 抗PS/PT抗体が陽性の下腿皮膚潰瘍の1例
周 円（岐阜大学）ほか
- 146 発熱と浸潤性紅斑を繰り返したシェーグレン症候群
大塚 幹夫（福島県立医科大学）ほか
- 147 播種状の紅斑及び丘疹で急激に発症した成人 Still 病
下方 美穂（防衛医科大学校）ほか
- 148 足趾壊疽を伴った rheumatoid neutrophilic dermatitis の1例
荒木 良子（宮崎大学）ほか
- 149 反復する発熱を伴った rheumatoid nodulosis の一例
楠谷 尚（大阪府済生会富田林病院）ほか
- 150 Interstitial granulomatous dermatitis with arthritis (Ackerman's syndrome) の1例
坂井 博之（市立旭川病院）ほか
- 151 ステロイド内服とメソトレキサートの併用が効いた進行性顔面片側萎縮症の1例
菅野 恭子（旭川医科大学）ほか

12:00~13:00 ランチョンセミナー

ランチョンセミナー9 皮膚アトピー向上を目指して

座長：朝比奈昭彦（東京慈恵会医科大学）

川村 龍吉（山梨大学）

- LS9-1 痒みとアトピー向上
石氏 陽三（東京慈恵会医科大学）
- LS9-2 皮膚アトピー向上を目指して～アトピー性皮膚炎を中心に
天野 博雄（岩手医科大学）

共催：日本臓器製薬株式会社

13:15~13:55 一般演題

自己炎症症候群

座長：金澤 伸雄（和歌山県立医科大学）

神戸 直智（関西医科大学）

- 152 コルヒチンが奏効した肉芽腫性乳腺炎
三澤 恵（富山大学）ほか
- 153 筋膜炎脂肪織炎症候群の1例
中島 杏奈（奈良県立医科大学）ほか
- 154 乾癬の臨床像を呈した Thymoma-associated multiorgan autoimmunity (TAMA) と考えられた1例
川崎 彩加（福岡大学）ほか
- 155 経過中 graft-versus-host disease (GVHD) -like erythroderma を呈した thymoma-associated multiorgan autoimmunity (TAMA) の1例
張田 修平（昭和大学）ほか
- 156 種痘様水疱症を呈した慢性活動性EBV感染症の1例
持丸奈央子（成育医療研究センター）ほか

12月1日(日) 第3日目 E会場

8:00~9:00 モーニングセミナー

モーニングセミナー2 エリテマトーデスの診断と治療戦略

座長：池田 高治（東北医科薬科大学）

MS2 エリテマトーデスの診断と治療戦略

長谷川 稔（福井大学）

共催：サノフィ株式会社

10:05~10:45 一般演題

金属アレルギー2

座長：井川 健（獨協医科大学）

足立 厚子（兵庫県立加古川医療センター）

157 眼鏡鼻当てに含まれたセバシン酸ビス（2,2,6,6-テトラメチル-4-ピペリジル）
（Tinuvin770）によるアレルギー性接触皮膚炎の1例

渡部 裕子（わたなべ皮膚科形成外科 愛媛県松山市）ほか

158 職業性アレルギー性接触皮膚炎のまとめ

鈴木加余子（藤田医科大学ばんだね病院 総合アレルギー科）ほか

159 久留米大学におけるパッチテストのまとめ（2014年～2018年）

永田 寛（久留米大学）ほか

160 SSCI-Net 2018年度アレルギー性皮膚障害例のまとめ

松永佳世子（藤田医科大学 アレルギー疾患対策医療学）ほか

161 医薬部外品申請における皮膚刺激性評価ガイダンス作成に向けた取り組み
第2報

矢上 晶子（藤田医科大学ばんだね病院 総合アレルギー科）ほか

12:00~13:00 ランチョンセミナー

ランチョンセミナー10 エキシマライトで次の一手：アトピー性皮膚炎、 手湿疹に！

座長：森田 明理（名古屋市立大学）

LS10-1 エキシマライトを使いこなそう～外用でうまくいかないときの次の一手～

藤田 英樹（日本大学）

LS10-2 皮膚と心に届くエキシマ光線療法—アトピー性皮膚炎の手湿疹を中心に

檜垣 祐子（若松町こころとひふのクリニック 東京都新宿区）

共催：ウシオ電機株式会社

13:15～15:25 第4回重症薬疹診療拠点病院認定に係る講習会

**厚生労働科学研究班（重症多形滲出性紅斑に関する調査研究）
「第4回重症薬疹診療拠点病院認定に係る講習会」**

1 挨拶と事務連絡

森田 栄伸（島根大学）

2 スティーヴンス・ジョンソン症候群（SJS）、中毒性表皮壊死症（TEN）－診断と治療

渡辺 秀晃（昭和大学）

3 薬剤性過敏症症候群－診断と治療

水川 良子（杏林大学）

4 SJS/TEN の眼障害

外園 千恵（京都府立医科大学 眼科学教室）

5 重症薬疹と全身管理－各専門医との連携

新原 寛之（島根大学）